

# 公益社団法人びわこビジターズビューロー

## 令和2年度(2020年度)事業計画

公益社団法人びわこビジターズビューロー（以下、「ビューロー」という。）では、滋賀県の新たな「観光交流」振興指針「『健康しが』ツーリズムビジョン2022～観光を架け橋に、つなぐ滋賀、つづく滋賀～」を踏まえ、平成31年3月に新たな中期計画（第2期）（令和元年度～令和4年度）を策定した。

令和2年度は中期計画の2年目として、「滋賀らしさを活かした観光素材のブラッシュアップ」、「受入環境の整備による「滋賀のおもてなし」」、「情報発信の強化による認知度向上」、「持続可能な観光・物産振興の体制構築」の4つの重点テーマのもと、令和4年度末の目標達成に向け、取り組みを加速する。

このため、令和2年度においては、大河ドラマ「麒麟がくる」（令和2年1月～12月）の放送を絶好のチャンスとして捉えるとともに、昨年度大きな盛り上がりを見せた甲賀市信楽が舞台となった連続テレビ小説「スカーレット」（令和元年9月30日～令和2年3月28日）に関する観光誘客の取り組みのレガシーも活かしつつ、観光地域づくりの基盤整備や国内外からの観光誘客、地域資源を活かした物産振興に取り組む。

一方で、令和2年1月から活発化した新型コロナウイルス感染症の全世界的な拡大は、本県の観光業界にも大きな影響を及ぼし、業界全体を取り巻く状況は非常に深刻で、予断を許さない現状にある。

こうした中で、観光庁においては感染症終息後のスピード感を持った対策を練られているが、ビューローとしてもこれらの動きや滋賀県の動向と歩調を合わせ、また観光事業者の皆様と協働しながら、地域観光のかじ取り役として再び元気な「健康しが」を全国に向けて発信することが必要である。

こうした状況に鑑みたと、令和2年度は以下のテーマおよび内容での事業を推進する。

### 中期計画 重点テーマ1

#### 「滋賀らしさを活かした観光素材のブラッシュアップ」

大河ドラマ「麒麟がくる」の放映を契機とした滋賀県観光キャンペーン「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」はメイン展開期となる。観光素材のブラッシュアップや魅力あふれるコンテンツの開発を進めるとともに、県内の戦国時代に関する史跡をはじめとして、数々の歴史資源や戦国武将の魅力に焦点をあてたプログラムを実施し、多様なメディアを用いた広報展開により滋賀の戦国の魅力を広く全国に発信することを目的とする。

また、県物産品の認知度向上を目指し、日本橋高島屋（東京）での「大近江展」やあべのハルカス近鉄本店（大阪）での「滋賀・びわ湖展」を継続して実施するとともに、中京圏に対するプロモーションとして、松坂屋名古屋店にて「近江工芸展（仮称）」を実施する。

加えて地産地消促進のため、昨年度、取り組みを始めた近鉄百貨店草津店での常設物産販売についても積極的に展開していく。

### 中期計画 重点テーマ2

#### 「受入環境の整備による「滋賀のおもてなし」

宿泊・滞在型観光を誘致し、かつ来訪者の再訪意欲を高めるために、各種受入環境の整備を推進する。

このため、各市町や観光協会、民間事業者等の実施する観光資源の発掘や観光ルートの設定、2次交通アクセスの整備等の地域観光活性化の取り組みに助成するとともに、教育旅行誘致においては、東北3県（宮城・福島・岩手）と連携した教育旅行や、JR米原駅を利用し、なおかつ県内での宿泊や観光地利用を含む教育旅行に対して助成を行う。

コンベンション誘致においては、令和2年5月に大津市を中心として開催が予定されている「第63回日本糖尿病学会年次学術集会」に対し積極的な支援を行い、県内での消費拡大・地域活性化を図るとともに、周辺住民へのPR活動を強化し、「おもてなし」機運の醸成に努める。

訪日外国人観光客へ向けても、来県時の満足度を高め、さらなる誘客拡大を図るため、宿泊施設・観光事業者等の「おも

てなし力」の向上に努める。

### 中期計画 重点テーマ3

#### 「情報発信の強化による認知度向上」

雑誌やパンフレットといった紙媒体での露出に加え、「滋賀県観光・物産情報ウェブサイト」のリニューアルを行い、生きた情報を分かり易く観光客の手元に届けるよう努めるとともに、かつ各種SNSを有効に活用し、観光客の意見も積極的に取り入れた双方向の情報発信も行う。また、全国各地で実施される観光展にも積極的に出展し、滋賀の魅力を広く発信する。

国内の団体に向けた誘客活動としては、教育旅行誘致キャラバンの実施やコンベンションセールスの実施を継続し、さらなる誘致件数増加を目指す。

海外誘客においては有力メディアの招請や、訪日教育旅行の誘致などに積極的に取り組み、外国人観光客のさらなる誘客促進に努める。

また、滞日中の訪日観光客をターゲットに、京都市内で展開している「そこ滋賀プロジェクト」の充実を図るとともに、中国湖南省「滋賀県誘客経済促進センター」を拠点として、中国に向けた積極的な誘客活動に努める。

### 中期計画 重点テーマ4

#### 「持続可能な観光・物産振興の体制構築」

ビューローでは、滋賀県全域をカバーする日本版DMO法人（地域連携DMO法人）として、会員をはじめ県内市町・観光協会等の多様な関係者と協働しながら、観光地域づくり等の基盤整備に努める。その一環として、滋賀県内各市町観光協会等の職員等に向けて、戦略的な観光事業を展開・牽引できる人材を育成する長期的なセミナーを昨年に引き続き開講する。また県内唯一の新幹線発着駅である JR 米原駅を活用し、観光情報を効果的に発信するとともに、県東北部への新たな人の流れをつくる広域観光を促進するため、関係自治体等の取り組みを支援する。

さらに各種観光データを「見える化」する調査を実施し、観光客の動向などを客観的に把握することで、データに基づいた戦略的で効率的な組織運営・事業運営に向け取り組むとともに、旅行業事業に新たに取り組む、市町および観光振興団体等への支援を活発化させることで、地域と連携した組織基盤の強化に取り組む。

令和2年度(2020年度)目標値

項目	2019年度		2020年度		2022年度(中期計画目標値)	
	目標値		目標値		目標値	
観光消費額(億円)	目標値	1,860	目標値	2,152	目標値	2,000
	達成見込み	2,039				
延べ宿泊者数(万人)	目標値	415	目標値	430	目標値	450
	達成見込み	408				
延べ観光入込客数(万人)	目標値	5,500	目標値	5,700	目標値	6,000
	達成見込み	5,395				
物産展販売金額(千円)	目標値	214,000	目標値	183,000	目標値	150,000
	達成見込み	160,000				

※観光消費額、延べ宿泊者数、延べ観光入込客数の達成見込みは、「令和2年度『健康しが』ツーリズムビジョンアクションプラン(案)」による。

# I 滋賀らしさを活かした観光素材のブラッシュアップ

## 1 国内誘客の推進

### (1) 観光キャンペーン推進事業 (89,900千円) [創]

県、市町、観光団体・事業者等の多様な主体が一体となった、県全域をあげた滋賀県観光キャンペーン「戦国ワンドーランド滋賀・びわ湖」の実施にあたり、同キャンペーンの総括、広報・PRの企画・実施および県内全域を対象として催す広域的、統一的な誘客企画を運営し、滋賀県全体として盛り上がりのある観光キャンペーンを展開する。

#### ① 戦国キャンペーン広報・PR事業

##### ア 公式媒体による広報・PR事業

- ・公式ウェブサイトの構築・運営
- ・SNS連携による戦国フォトジェニックキャンペーンの実施
- ・公式パンフレットの作成
- ・PRポスターの作成・配布

##### イ 民間媒体を活用した情報発信事業

- ・情報誌などの民間媒体を活用した情報発信
- ・ウェブ媒体を活用した情報発信
- ・交通系媒体を活用した情報発信

##### ウ 広報用素材作成

- ・認知向上のため、統一感・話題性豊を持った情報発信

##### エ パブリシティの展開による情報発信事業

- ・プレスツアーの実施
- ・パブリシティ専門会社を通じたメディア等への情報発信

##### オ 観光展等出展事業

- ・ツーリズムエキスポジャパンへの出展や観光キャンペーンの周知を図るPRイベントの実施
- ・戦国キャンペーンの一環として、昨年引き続きあべのハルカスにて「味と匠の祭典 滋賀・びわ湖展」を開催

##### カ 旅行商品化造成強化事業（観光キャンペーン専用商品）

- ・旅行会社への旅行商品化への助成等
- ・OTA等の旅行（宿泊）予約サイトと連携した情報発信
- ・旅行会社等との旅行商談会・現地研修会の開催

##### キ PRツール等を活用した観光キャンペーン啓発事業

- ・各種PRツール等を作成し、掲出・配布

#### ② 戦国観光キャンペーン特別企画・プログラム強化支援事業

##### ア キャンペーンイベント

- ・キャンペーンへの関心を高め特別感のある特別企画の展開および県内で実施される大規模イベント（イナズマロックフェスティバルなど）においてキャンペーンのPR等を実施する。

##### イ 戦国キャンペーン地域観光支援事業

- ・戦国地域観光プログラム強化支援

##### ウ 周遊促進事業

- ・戦国の史跡やその周辺等を巡る周遊企画の実施

##### エ 観光キャンペーン運営事業

- ・事業運営職員の配置

### (2) (新) OTAを活用した誘客促進 (7,200千円) [県]

新たな販売チャネルの拡大とアフィリエイト収入の獲得を図るとともに、滋賀への誘客を促進するため、「新たなビジネスモデル」の位置づけとしてOTAの活用に取り組む。

- ・OTAのバナーをホームページ上に設置
- ・OTAのシステムを活用し、宿泊・体験・グルメ・イベント等の予約を促進

## 2 物産振興事業

### (1) 郷土物産展開事業および物産宣伝紹介事業

#### ① 物産展等の開催 (14,915 千円) [県][自]

名 称	開 催 場 所	開 催 時 期
近江物産品コーナー運営 [自]	近鉄百貨店草津店	2020 年度通年
第 16 回滋賀のええもんうまいもん祭り [自]	西武大津店	2020 年 5 月
第 1 回名古屋工芸展(仮称) [県] (新)	松坂屋名古屋店	2020 年 7 月
鴨川納涼 2020	京都鴨川西岸河川敷	2020 年 8 月
第 39 回江州音頭フェスティバル	京都勸業館	2020 年 8 月
第 17 回滋賀のええもんうまいもん祭り [自]	西武大津店	2020 年 8 月
名古屋県人会祭り [県] (新)	名古屋久屋大通公園	2020 年 9 月
近江うまいもんええもん市	ビバシティ彦根	2020 年 10 月
びわ湖大花火大会ブース出展	有料観覧席内	2020 年 11 月
近江味紀行 [県]	日本橋高島屋	2020 年 11 月
第 2 回滋賀・びわ湖展 [県][自]	あべのハルカス近鉄本店	2020 年 12 月予定
おいでーな IN 名古屋 [県]	金山総合駅連絡口	2020 年 12 月
全国うまいものと駅弁大会 [自]	仙台藤崎百貨店	2021 年 2 月予定
第 33 回琵琶湖夢街道大近江展 [県]	日本橋高島屋	2021 年 3 月予定

#### ア (新)名古屋工芸展(仮称)の開催 (3,000 千円) [県] <再掲>

伝統工芸品から生活雑貨品まで滋賀の工芸品を中心とした物産展を松坂屋名古屋店にて初開催する。併せて集客の為に滋賀県の食品についても開催先の希望により一部出展対応する。同時に滋賀県の観光 PR を行い、物産と観光の魅力で滋賀県への誘客に繋げる。

#### イ 第 2 回滋賀・びわ湖展の開催 <再掲>

「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」キャンペーンの一環として、昨年に引き続きあべのハルカス近鉄本店にて「味と匠の祭典 滋賀・びわ湖展」を開催する。滋賀の旬の味や匠の技等滋賀ブランドの発信と併せて、今年度は各市町からの集荷コーナー「近江路」を拡大し、滋賀県の特産品を広く宣伝して行く。また、キャンペーンでの魅力発信により滋賀への誘客に繋げる。

#### ② 物産振興奨励事業 (100 千円) [自]

(公社)びわこビジターズビューロー物産振興部会員である市町の物産協会等、地域の物産振興団体が、県内産品の振興に寄与する行事または催事にかかる経費に助成し、地域の物産振興を推奨する。

## II 受入環境の整備による「滋賀のおもてなし」

### 1 観光による地域活性化への支援

#### (1) 地域観光活性化支援事業 (14,000 千円) [県]

市町、地域観光振興協議会が行う地域観光活性化の取り組みに助成する。

- ・対象事業：着地型観光（街歩きや体験観光）、特別公開などの観光資源の発掘、観光ルートの設定、複数の観光地を結ぶ2次交通アクセスの整備等  
(特に観光キャンペーンに係る地域観光プログラムへ重点的に支援)

### 2 国際観光推進事業

#### (1) 受入環境整備の促進 (300 千円) [創]

受入れ環境整備の一環として、近隣の府縣市（京都府、京都市、奈良市、大津市）と連携し、宿泊施設向けの24時間多言語コールセンター事業への参画を継続する。FIT化に対応するとともに本県を来訪する外国人観光客の満足度向上を図る。

#### (2) おもてなし研修の実施 [自]

本県を訪れる訪日外国人観光客の満足度を高め、リピーターの確保や更なる誘客拡大を図るため、本県を安心して快適に滞在・観光できる環境整備の一環として、県内の宿泊施設・観光事業者等を対象としたおもてなし研修を実施する。

### 3 教育旅行誘致事業

#### (1) 誘致キャンペーン事業（県内周遊型教育旅行造成補助）(1,000 千円) [県]

米原駅を利用して県内の観光地を訪問し、かつ県内に宿泊する教育旅行を実施した旅行会社に補助する。

### 4 コンベンション誘致事業

#### (1) 大手旅行会社等MICE担当者現地研修会 (498 千円) [県]

大手旅行会社等のMICE担当者を本県に招請し、MICE関連施設や神社仏閣のユニークベニュー施設の見学会、コンベンション部会員の説明会を実施しMICEの開催地としての滋賀をPRする。

#### (2) 滋賀県コンベンション開催助成金 (2,000 千円) [県]

県内での国際会議・全国大会の開催を支援するため、コンベンション開催助成金を国内大会上限500千円、国際大会1,000千円交付する。なお、滋賀県がコンベンション誘致促進を目的として誘致した令和3年4月1日以降の施行コンベンションについては国内・国際大会、最大2,000千円を上限とする。

#### (3) (新)「第63回日本糖尿病学会年次学術集会」の啓発およびプロモーション事業 (2,750 千円) [県]

5月に県内で開催される「第63回日本糖尿病学会年次学術集会」に対するおもてなし事業を行う。

- ・県内の観光、体験、グルメ紹介パンフレット作成
- ・学会開催告知の横断幕、のぼり作成

#### (4) 観光ガイド・滋賀県観光地図等の無料提供およびキャリーバッグの提供

コンベンション等の参加者に対して観光ガイドや観光地図等のパンフレットを提供し、参加者による県内の観光を促すと同時に、キャリーバッグ（資料袋）の有償提供（@155円）を行う。

#### (5) 主催者に対する情報提供等

コンベンション主催者からの問い合わせに対応し、コンベンション施設の情報提供や施設の紹介、エクスカーションの情報を提供するとともに、物産振興部会とも連携し土産品販売事業者等を紹介する。

- ・コンベンション施設の情報提供・担当者の紹介
- ・エクスカーションの紹介

・会場での土産品販売事業者の紹介

**(6) 会場の予約支援**

主催者が希望する会場・日程を確実に利用できるよう支援を行う。併せて、県・市等の公的施設の早期予約が可能となるよう各方面に働きかけを行う。

## Ⅲ 情報発信の強化による認知度向上

### 1 観光情報の発信

#### (1) 「滋賀県観光・物産情報ウェブサイト」の活用

##### ① 管理運用の強化 (9,610千円) [県] [自]

県内の観光・物産関連情報を集約し、一元化して発信している「滋賀県観光・物産情報ウェブサイト」について、その管理運用を強化し、県内各市町からの情報登録を中心とした積極的な利用を促すとともに、観光客のニーズに応じた情報発信を的確に行う。

##### ② (新) ウェブサイト多機能化事業 (21,276千円) [県]

ウェブサイトをブラッシュアップさせ、利便性を向上させることによって、更なる観光誘客促進を図る。

- ・サイトコンテンツの完全モバイル対応
- ・各種システムのバージョンアップ
- ・アクセスランキング等、特集ページ生成機能追加
- ・OTAなどとの連携による宿泊・体験・食事等の予約機能追加

#### (2) (新) 観光マップの作成 (2,213千円) [県] [自]

隔年で作成している「滋賀・びわ湖 観光マップ」をリニューアルする。

#### (3) 観光案内・観光相談業務 (2,165千円) [県]

観光・物産の問い合わせ等に対応するため、観光案内・観光相談業務を実施する。

#### (4) 観光展出展事業 (550千円) [県] [自]

県内各市町、観光関連団体等とともに、名古屋で開催される観光展に出展し、滋賀の魅力をPRし、東海圏からの観光誘客につなげる。

#### (5) 高速道路を活用した情報発信 (NEXCO西日本連携事業) (330千円) [県]

西日本高速道路株式会社 (NEXCO西日本) が営業エリアの府県と連携して実施しているドライブキャンペーン「お国じまんカードラリー」に参加し、滋賀県の魅力ある観光地の情報を発信する。

### 2 広報・プロモーションの実施

#### (1) びわこキャンペーン事業 (23,450千円) [県] [自]

滋賀県および西日本旅客鉄道株式会社 (JR西日本) と公益社団法人びわこビジターズビューロー等が組織するびわこキャンペーン推進協議会を事務局として運営し、戦国をテーマとした新しい滋賀県観光キャンペーンの実施と連動し、鉄道や公共交通機関を利用した滋賀県への観光入込を誘致する。

#### (2) 旅行商品造成に向けた商談会の開催等 (1,260千円) [自]

会員や市町・観光協会等と連携し、旅行会社に対し、商品化提案のための商談会や、滋賀での現地研修会を実施する。

- ・国内旅行商品企画担当者・商談会・現地研修会 (県内：9月予定)
- ・中部地区旅行会社商品企画担当者・商談会 (1月予定)
- ・関西地区旅行会社商品企画担当者・商談会 (2月予定)
- ・九州地区旅行会社商品企画担当者・商談会 (2月予定)
- ・首都圏旅行会社商品企画造成担当者商談会 (3月予定)

#### (3) 東海地区観光・物産情報発信事業 (731千円) [県]

東海地区のマスコミや旅行会社に対して観光情報提供や観光キャンペーンのための商品造成に向けた商談会を行う。

- ・中部地区旅行会社商品企画担当者・商談会
- ・名古屋市内の主要駅におけるキャンペーンの開催
- ・名古屋市内のプレスへの訪問、情報発信

#### (4) 日本観光振興協会共同事業 (1,000 千円) [県]

公益社団法人日本観光振興協会に対して負担金を拠出し、協会が実施する広域観光キャンペーン（駅キャンペーン）などの観光情報発信事業等に参画する。

#### (5) 首都圏における観光情報の発信（首都圏観光営業推進事業）(1,734 千円) [県]

首都圏における旅行エージェントやマスコミを対象とした近畿6府県の合同の情報交換会や商談会、訪問プロモーション、ここ滋賀と連携した観光イベントの開催等により、首都圏において本県の観光・物産情報を発信する。

### 3 国際観光事業推進事業

#### (1) そこ滋賀プロジェクトの推進 (8,000 千円) [創]

日本に滞日中の訪日観光客をターゲットとして、京都市内における観光案内等の情報発信やホテルコンシェルジュへの働きかけなどを展開する。

＜事業内容＞

- ・ 来場される訪日外国人観光客に対する観光案内
- ・ 宿泊施設の予約や旅行商品の手配
- ・ 案内スタッフへの研修実施（座学、現地研修）
- ・ ブース（ポスターおよびパンフレットラック）の設置

#### (2) 府県連携による観光誘客

##### ① 京都府との連携 (3,000 千円) [創]

京都市から周辺への誘客事業展開

##### ② 福井県との連携 (3,000 千円) [県]

福井県との連携により、フランスやイギリスをはじめとする欧州市場へのプロモーションを行う。

##### ③ 北陸新幹線沿線地域との官民広域連携 (800 千円) [県]

北陸新幹線沿線地域との官民広域連携により、FIT 層への情報発信を行い、北陸新幹線を活用した「新たなゴールデンルート」の認知度向上を図る。

#### (3) 海外向け情報提供

##### ① 観光ミッション派遣 (300 千円) [創]

商談会やセールススクール等の際に、通例として持参する土産品として、地場産品を購入し、円滑にミッションを行うとともに地場産品のPRにつなげる。

##### ② (新) 滋賀県誘客経済促進センターによるプロモーション

ア 滋賀県誘客経済促進センターを活用したプロモーション (4,520 千円) [県]

滋賀県誘客経済促進センターを活用し、現地でのセールス、情報発信、湖南新康輝国際旅行会社との連携等によるプロモーションを行い、本県の認知度向上を図るとともに魅力を発信する。

イ 滋賀県誘客経済促進センターとの連携 (2,304 千円) [創]

滋賀県誘客経済促進センターと連携し、旅行会社等を招請することで本県の魅力を伝えるとともに旅行商品の造成、誘客促進につなげる。

##### ③ 民間発信力等を活用した情報発信の強化 (3,800 千円) [創]

FIT 誘客のため、有力メディアの招請等により本県の魅力を効果的に発信するほか、送客に影響力を持つ旅行会社等へのプロモーションを展開。

- ・ 招請対象 雑誌、旅行ガイド、インフルエンサー、ブロガー、旅行 AGT 等

##### ④ 訪日観光客向け英語版パンフレットの作成 (2,520 千円) [創]

FIT 化に対応し、受入環境整備として、県内の観光施設情報や魅力的な体験観光を掲載した着地型パンフレットを英語版で作成。ゲートウェイとなる空港や駅、訪日客が集中する京都市内等にも配架し、本県への誘客と周遊促進および長期滞在化を図る。

##### ⑤ 海外向け情報提供 (2,480 千円) [県] [自]

英語版マップや多言語リーフレットの改訂や増刷を行う。

- ・ 部会員を紹介する英語版マップの改訂や増刷
- ・ 多言語リーフレット「滋賀の旅」の改訂や増刷

#### (4) 訪日教育旅行誘致の促進 (990 千円) [県] [創]

団体での誘客が図れるとともに、将来、リピーターとしての効果が期待され、また学校交流を通じて県内の生徒が異文化交流・国際理解を深める絶好の機会となる訪日教育旅行の誘致について、愛知県との連携による訪日教育旅行誘致協議会において取組を進める。

- ・広域連携による現地プロモーションの実施、学校関係者への招請
- ・学校交流を受け入れる県内学校への支援等

#### (5) インバウンド部会事業 (1,000 千円) [自]

##### ① ランドオペレーターへのプロモーション

国内のランドオペレーターと会員事業者との商談会等を開催し、本県の観光施設や体験観光等の魅力を PR するとともに今後の送客につながる関係構築を図る。

##### ② 県内研修会やセミナーの実施

会員の海外や国内でのプロモーション活動に役立てるため、県内の観光施設における研修会の実施や会員施設のスキルアップセミナーを実施する。

##### ③ 海外旅行博参加者への助成

部会事業として認定した海外旅行博への参加する会員に助成を行う。

### 4 教育旅行誘致事業

#### (1) 誘致促進事業

##### ① 誘致キャラバン事業 (1,230 千円) [県] [自]

ア 県内や近隣府県に教育旅行での来訪が多い首都圏はもとより、今まであまり訪問していない地域にも訪問し、新規誘客エリア拡大を目的として部会員等の参加による誘致キャラバンを2回実施する。また、近隣府県を発地とした校外学習や合宿などについても誘致促進を図る。

イ 旅行会社教育旅行担当者との情報・意見交換会を実施する。

##### ② 旅行会社現地研修会事業 (1,780 千円) [県] [自]

大手旅行会社の教育旅行担当者等を対象に、県内現地研修会を開催して、実際に体験学習や宿泊施設、観光施設等を見学・体験していただくとともに、教育旅行部会員の施設説明会を含む情報交換会を開催する。

- ・対象旅行会社：JTB、近畿日本ツーリスト、日本旅行、東武トップツアーズ

##### ③ (新) 東北3県(岩手、宮城、福島)の学校との交流を目的とした事業 (4,000 千円) [県]

東北3県から滋賀県へ、また滋賀県から東北3県への教育旅行相互交流を目的として、学校関係者ならびに旅行会社教育旅行担当者との情報・交換会を開催する。また、誘致キャラバンを実施するとともに誘致に必要な資料を作成する。

現地視察を実施する学校関係者ならびに旅行会社教育旅行担当者に対し、係る費用の一部を助成する。

##### ④ 日本修学旅行協会および全国修学旅行研究協会への参加 (80 千円) [自]

両協会の賛助会員として参加し、情報収集や情報発信、誘致に役立てる。

#### (2) 情報発信事業 (50 千円) [自]

ビューローホームページ内「教育旅行誘致事業」ページの運営や情報更新、首都圏で開催される「修学旅行研究大会」等での誘致PRブースを出展する。

### 5 コンベンション誘致事業

#### (1) 情報収集・誘致活動

##### ① セミナー・セールス事業 (1,320 千円) [県] [自]

ア「地方都市コンベンション協議会」への参画

新潟・松本・びわこ・和歌山・高松の地方都市が合同で首都圏等のコンベンションの主権者に対して合同セミナーや合同セールスを実施するとともに、部会での情報の共有化を図る。

- ・データベースによるコンベンション開催情報の共有
- ・合同セミナーの開催 年2～3回(各学会・団体事務局、旅行エージェントMICE部門等)
- ・合同訪問セールスの実施 年2回程度
- ・部会員への情報提供

#### イ 個別セールスの実施

セミナー・セールス事業等で得た情報を部会員と共有するとともに、部会を中心とする官民の一体的な誘致への取組みの強みを活かし、本県への誘致の可能性のある学会や団体事務局および旅行エージェントMICE担当者等に対し、個別のセールスを行い誘致に繋げる。

#### ② JCCB部会事業 (100 千円) [自]

全国のコンベンション振興と人材育成等を図ることを目的に活動している「日本コンgresコンベンションビューロー (JCCB)」に賛助会員として参加し、情報収集や情報発信を行い、誘致推進に役立てる。

#### ③ 近畿コンベンション連絡会への参画

近畿地方のコンベンション誘致団体と連携・情報共有を行い、広域的なMICEの誘致を図る。

#### ④ 誘致ツールの作成 (100 千円) [自]

本県へのコンベンション誘致や糖尿病学会をはじめとする学会・大会への参加者の増加を図るため、主催者や参加予定者に配布するノベルティを作成する。

### 6 物産振興事業

#### (1) 滋賀の物産を紹介するウェブコンテンツの充実 (200 千円) [自]

部会員の商品を紹介するためのWEBコンテンツ「ええもんうまいもん」については引き続き全会員登録をに向け進めていく一方で、トピックスでの取組み掲載等によりユーザー数増加に取り組む。

#### (2) 首都圏観光・物産情報発信事業

##### ① 情報発信拠点「ここ滋賀」への支援・協力

滋賀県情報発信拠点「ここ滋賀」については、連絡会議や商品募集審査会を通じて取扱商品の振興や販路拡大に繋がるよう協力団体として取り組む。

#### (3) 観光土産品審査等事業 (529 千円) [自]

滋賀県の優れた伝統工芸や民族工芸および食料品など観光土産品を全国ブランドとするため、全国推奨観光土産品審査会へ参加する。

##### ① 滋賀県観光土産品公正表示等認定審議会の実施

令和2年11月開催予定

##### ② 第61回全国推奨観光土産品審査会

令和2年12月開催予定

### 7 湖南省からのインバウンドの促進

#### (1) 滋賀県誘客経済促進センターの運営 (8,884 千円) [県]

滋賀県誘客経済促進センターにおいて、湖南省をはじめとする中国からのインバウンド等を促進する。

## IV 持続可能な観光・物産振興体制の構築

### 1 観光による地域活性化への支援

#### (1) 観光人材育成等地域支援事業 (10,520 千円) [創]

観光まちづくりの仕組みを自立的かつ持続的なものにレベルアップさせるために、PDC Aサイクルに基づいた戦略的な観光事業を展開・牽引し得る人材を育成する。前年度より3か年計画の事業。本年度は2年目となる。

##### ① 観光人材育成事業

ア「しが観光人材育成アカデミー」の開講

観光の中核を担う人材を育成するため、専門性の高い講座を実施アカデミー講座では県外の先進事例の視察も行う。

イ「県域研修会」の開催

アカデミー受講生に加え、市町・観光関連団体・観光事業者などビューロー会員にも広くご参加いただける研修会を開催。

ウ チーフマーケティングオフィサーの設置

旅行実態などのデータを把握し、マーケティング分析に基づいた観光戦略の策定等について地域を支援する。

#### (2) 観光統計調査事業 (6,000 千円) [県]

国土交通省が策定した「観光入込客統計に関する共通基準」に基づき、観光入込客統計調査およびパラメータ調査を県の委託により実施する。

### 2 持続可能な基盤整備への取組

#### (1) (新) 滋賀県の観光見える化・データ活用事業 (29,000 千円) [創]

観光客の周遊実態（訪問施設数・施設間移動・滞在時間・混雑状況等）のデータを取得・分析し、関係者と共有して、更なる周遊促進に向けて観光施策を改善する。

#### (2) (新) 米原駅の広域観光推進拠点化への支援 (3,723 千円) [県]

関西国際空港やJR京都駅周辺エリアを通過するスマートフォン（言語設定が英語）に対して、観光情報を発信するなど、インバウンド観光客を対象とした米原駅利用促進の取組を支援する。

#### (3) (新) 県東北部の観光周遊機能構築 (7,000 千円) [県]

米原駅を起点とした県東北部の観光周遊を促進するため、関係自治体等と連携を図りながら、二次交通の充実など周遊促進策の検討を行う。

#### (4) (新) 旅行業関連事業 (1,035 千円) [自]

旅行業登録を行い、県内における募集型企画旅行の受託販売を行う。

#### (5) 国内海外物産振興調査研究 (100 千円) [自]

国内及び海外での物産振興等の将来的な展望を踏まえ、他の事業団体等が取り組んでいる状況の調査研究を行う。

### 3 各種事業への参画

#### (1) びわこキャンペーン推進協議会への参画 <再掲>

滋賀県および西日本旅客鉄道株式会社（JR西日本）と公益社団法人びわこビクターズビューロー等が組織するびわこキャンペーン推進協議会の事務局を担う。

#### (2) 日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会への参画

日本遺産「水の文化」ツーリズム推進協議会が平成29年度に開催した「日本遺産 滋賀・びわ湖 水の文化ぐるっと博」の開催を契機に、これまでの取組を活かした事業を継続するため、日本遺産の魅力を発信することにより、認定地域への誘客を図る。

- ・日本遺産を活用した地域まちづくり支援

- ・案内看板等広報資料作成
- ・日本遺産を活用した周遊促進
- ・観光キャンペーンと連動した情報発信

### (3) びわ湖大花火大会実行委員会への参画

滋賀県観光キャンペーン「戦国ワンダーランド滋賀・びわ湖」のクライマックスとなる秋に開催されるびわ湖大花火大会の実行委員会の事務局を担う。

- ・開催予定 令和2年11月6日(金) 19:00~20:00

### (4) びわ湖一周ロングライド2021実行委員会への参画

自然豊かなびわ湖を全国に発信し、観光振興、地域振興に加え、環境にやさしく健康増進に役立つ自転車の普及を促進するため、サイクリングイベントの実行委員会へ参画する。

- ・開催予定 令和3年4月以降

### (5) ビワイチトレイルランニングの実行委員会への参画

健康・観光をテーマとし、県内のトレイルコースを繋ぐトレイルランニング大会の実行委員会に参画する。

- ・比叡山(令和2年5月23日)
- ・朽木(高島市)(令和2年6月21日)

### (6) 淡海観光ボランティアガイド連絡協議会への参画

各地域の観光ボランティアガイドの連絡組織の事務局を担う。

- ・総会: 4月~6月予定
- ・交流研修会: 7月 近江八幡(予定)

### (7) 滋賀経済団体連合会への参画

滋賀県経済団体連合会に参画し、他の経済団体と連携した経済振興と地域活性化のための取組を進める。

## 4 観光・物産関連行事への後援等

県内の観光・物産の振興に寄与すると認められる行事や企画について、後援、協賛および共催を行う。

## 5 観光・物産事業功労者等の表彰(100千円) [自]

観光・物産事業の発展、振興に功労のあった個人、団体および優良従業員の表彰を行う。

## 6 会員、関係機関等との連携強化

### (1) 会員とビューロー、会員相互の連携の強化

会員通信メール、地域懇談会等により、会員とビューロー事務局および会員相互の情報交換に努める。また、会員のビューロー事業への参加を促し、会員の意見等をビューローの事業に反映するとともに、会員を対象とした研修会・セミナー等を行う。

### (2) 県、市町、観光協会等との連携の強化

県との定期的な情報・意見交換会等により連携を図るとともに、行政懇談会等を通じて、観光・物産振興に関する要望、提言等を行う。また、県と協力して市町・観光協会との定期的な情報や意見の交換の場を設ける等により、これらと連携の強化を図る。